

杉並区の子どもたちを放射能から守ることに係る陳情

呼びかけ団体 : Tokyo Kids & Radiation
杉並あんしんプロジェクト
<http://safe-suginami.jimdo.com/>
呼びかけ人 : 指澤 良子 (アメリカ合衆国 2 児の母)
ム-7 デヴィッド シドニー (アメリカ合衆国 2 児の父)
酒井 太郎 (杉並区高円寺南 2 児の父)
清水 知子 (杉並区高円寺南 1 児の母)
連絡先 : info.anshinp@gmail.com

みんなで、杉並区の子どもたちを守ろう！

2011 年 3 月 11 日の東日本大震災により発生した東京電力福島第一原子力発電所の事故。
収束がいまだに見通せないまま、今日も放射性物質は空から降り注いでいます。

東京都でもその汚染は広がっています。

2011 年 3 月 23 日、都内の水道水からは、事故前の基準値 (10Bq/L) の 21 倍にあたる 210 Bq/L のヨウ素 131 が検出され、乳幼児の摂取が制限されました。葛飾区では 2011 年 5 月 10 日、文部科学省が測定した数値 (0.062 μ Sv/h 新宿区) の約 5 倍 (0.359 μ Sv/h) の空間放射線量を測定しています。

江東区の公園の土壌からは、セシウム 134 を 2850Bq/Kg、セシウム 137 を 3050 Bq/Kg 検出 (5/25 検査実施)。世田谷区と三鷹市では、母乳からセシウムが検出されています (2011 年 6 月 2 日検査実施)。

中でも乳幼児は放射線感受性が高く、大人の 4~10 倍ほど汚染の影響を受けやすいとされています。また、内部被ばくは、強い放射線を局所的に長く浴びることから危険性が高いと指摘されており、放射線医学総合研究所が 2011 年 3 月 25 日に発表した資料には、12 日間 0.2 μ Sv/h の内部被ばくを甲状腺に受けると、1~3 歳未満児で 108mSv、3~8 歳未満児で 64mSv の被ばくをしたことになると書かれています。

杉並区の将来を担う子どもたちの健康を守るには、速やかに被ばくの予防を行う必要があると考えます。そのため、私たちは杉並区に対し、下記「子どもの被ばく量ゼロ計画」の実施を強く要望いたします。

▼ 子どもの被ばく量ゼロ計画

1. 給食食材の測定と放射能測定

内部被ばくを避けるため、区内における給食食材の放射能測定 (α , γ , β)、放射性物質の核種とその濃度の測定を杉並区独自で定期的実施し、区民に公開する。
暫定基準値を下回る食材であっても、放射性物質が不検出になるまで使用を控える。
また、お弁当、水筒の持ち込みを各人の自由とする。

2. 保育・教育関係者、保護者への勉強会を実施

各調理師・希望保護者には、放射能を含みやすい食材・内部被ばくをより抑えられる調理方法などの勉強会を定期的実施する。また、区内各園、各教育関係者には、放射能防御に関する基本的な知識を得られるよう、勉強会・情報交換会を開催する。

3. 水道水における放射能測定

杉並区が独自で実施している区内水道水の放射能測定について、測定値を即日区民に公開する。その際 20 Bq/Kg 未満でも「不検出」とせず、0.1 Bq/Kg 単位まで計測し、検出成分が 0.1 Bq/Kg 以下の場合「未満」と表示測定値を公表する。

4. 土壌の放射能測定とその公開

杉並区の保育園、こども園、幼稚園、小中学校、公園、児童館、通学路など、子どもが関わる場所で、土壌 (地表、地上 0.5m、地上 1m) の放射能測定 (α , γ , β) を実施、区民に公開する。
法律で定められている年間 1mSv (0.11 μ Sv/h) を超える場所については、更なる土壌調査をし、放射性物質の核種とその濃度を測定、区民に公開する。
また、数値により、除染作業を実施する。児童・生徒の屋外活動を中止するなどの基準を定める。

5. 放射能汚染物質の除染

区内の放射性物質の除染を行う。その際、区内全体の放射線量が下がるよう、できる限り低い値を目指す。また、放射性物質の集まりやすい場所 (側溝など) を公開し、各家庭や自治会等での除染活動を支援する。

以上、よろしくお願い申し上げます。

杉並区の子どもたちを放射能から守ることに係る陳情

署名のお願い

ご賛同くださる方は、ご署名のご協力のほどよろしくお願いいたします。※下記は1枚目と同内容文章です。

みんなで、杉並区の子どもたちを守ろう！

杉並区の将来を担う子どもたちの健康を守るには、速やかに被ばくの予防を行う必要があると考えます。そのため、私たちは杉並区役所に対し、下記「子どもの被ばく量ゼロ計画」の実施を強く要望いたします。

▼ 子どもの被ばく量ゼロ計画

1. 給食食材の測定と放射能測定

内部被ばくを避けるため、区内における給食食材の放射能測定(α , γ , β)、放射性物質の核種とその濃度の測定を杉並区独自で定期的を実施し、区民に公開する。暫定基準値を下回る食材であっても、放射性物質が不検出になるまで使用を控える。また、お弁当、水筒の持ち込みを各人の自由とする。

2. 保育・教育関係者、保護者への勉強会を実施

各調理師・希望保護者には、放射能を含みやすい食材・内部被ばくをより抑えられる調理方法などの勉強会を定期的を実施する。また、区内各園、各教育関係者には、放射能防御に関する基本的な知識を得られるよう、勉強会・情報交換会を開催する。

3. 水道水における放射能測定

杉並区が独自で実施している区内水道水の放射能測定について、測定値を即日区民に公開する。その際 20 Bq/Kg 未満でも「不検出」とせず、0.1 Bq/Kg 単位まで計測し、検出成分が 0.1 Bq/Kg 以下の場合「未満」と表示測定値を公表する。

4. 土壌の放射能測定とその公開

杉並区の保育園、こども園、幼稚園、小中学校、公園、児童館、通学路など、子どもが関わる場所で、土壌(地表、地上 0.5m、地上 1m)の放射能測定(α , γ , β)を実施、区民に公開する。法律で定められている年間 1mSv(0.11 μ Sv/h)を超える場所については、更なる土壌調査をし、放射性物質の核種とその濃度を測定、区民に公開する。また、数値により、除染作業を実施する。児童・生徒の屋外活動を中止するなどの基準を定める。

5. 放射能汚染物質の除染

区内の放射性物質の除染を行う。その際、区内全体の放射線量が下がるよう、できる限り低い値を目指す。また、放射性物質の集まりやすい場所(側溝など)を公開し、各家庭や自治会等での除染活動を支援する。

【署名について】

◆直筆にて姓名をご記入ください。

◆区外、都外在住、外国人の方のご署名も有効です。

(邦文表記をお願いします)

◆ご住所はお手数ですが、番地まですべてご記入ください。

◆捺印は任意ですが、ご協力いただけますようお願いいたします。

◆署名ご送付先：

〒166-0002 高円寺駅前郵便局留 杉並あんしんプロジェクト 清水知子 宛

| お名前 (姓名) | ご住所 | 捺印 (任意) |
|----------|--------------------|---------|
| | 都 道 区 市 県 府 町 村 | |
| | 都 道 区 市 県 府 町 村 | |
| | 都 道 区 市 県 府 町 村 | |
| | 都 道 区 市 県 府 町 村 | |
| | 都 道 区 市 県 府 町 村 | |
| | 都 道 区 市 県 府 町 村 | |
| | 都 道 区 市 県 府 町 村 | |
| | 都 道 区 市 県 府 町 村 | |
| | 都 道 区 市 県 府 町 村 | |
| | 都 道 区 市 県 府 町 村 | |

※個人情報について

いただいた個人情報は杉並あんしんプロジェクトが今回行う

署名の目的以外には使用いたしません。また、個人情報を第三者に開示・提供することはありません。